

北海道文化奨励賞

おか べ まさ お
岡 部 昌 生

道内だけではなく広く国内外で版画技法のフロッタージュ作品を多く制作し、その作品のユニークな手法とともに、強いメッセージをもった表現が高く評価されている。

また、道内各地で市民とのコラボレーションを実施するなど、本道の現代美術の普及と発展に大きく貢献しており、今後一層の活躍が期待されている。

- 昭和52年 フロッタージュによる都市の「記憶と記録」の表現を始める
- 昭和62年 広島市現代美術館の委託作品「ヒロシマー 8月の路上1987/88」の制作開始
- 昭和63年 オーストラリア、ヌーサ美術館個展 市民と150名のフロッタージュを実施
以後、市民との協働制作（コラボレーション）を国内外の多数の都市で展開
- 平成8年 パリ、マレ・ロジエ街でナチの拉致の史実を刻む銘板を書簡にフロッタージュ
以降都市を往還する「フロッタージュ・アエログラム・プロジェクト」を展開
広島市現代美術館のワークショップ「ヒロシマ・メモワール'96」実施
- 平成12年 第3回光州ビエンナーレ2000特別展「芸術と人権」(韓国・光州)に参加
越後妻有アートトリエンナーレ2000で「風のサブロウサマに会えるか」実施
- 平成17年 被爆60年「ヒロシマを擦りとる」一万人のワークショップの開始
札幌、帯広、釧路、根室、旭川、函館、夕張、小樽など10都市で北海道の近代
を擦りとる「岡部昌生シンクロ+シティ 2005プロジェクト」を実施
ふたつのプロジェクトを連動させ旧日本銀行広島支店と広島市現代美術館で
「シンクロニシティ (同時生起)」を開催